

令和4年度子ども発達支援センター青空
第5回 保護者研修



「コミュニケーション支援」

子ども発達支援センター青空
紙屋 浩司

子ども発達支援センター青空



コミュニケーションとはなにか？



子ども発達支援センター青空



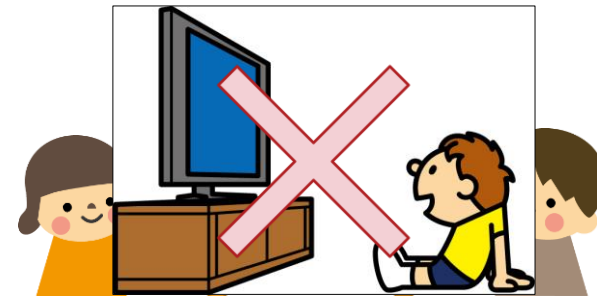
コミュニケーションとは

- 表現（メッセージを伝える）
- 理解（メッセージを受け取る）
- やりとり（お互いに伝えあう）

意味を共有する



子ども発達支援センター青空



Aさん

メッセージを受け取る

Bさん

子ども発達支援センター青空



コミュニケーションの種類

● 種類

- 言語コミュニケーション
- 非言語コミュニケーション

● 目は口ほどに物を言う

- 視覚：表情・しぐさ → 5
- 聴覚：話し方・声 → 3
- 言語：話の内容 →



※「メラニアンの実験」：心理学者アルバート・メラニアン
参考『本音は顔に書いてある』アラン・ピース、バーバラ・ピース著

こども発達支援センター青空



コミュニケーションの要素

○ コミュニケーションはキャッチボール



こども発達支援センター青空



コミュニケーションの要素

● コミュニケーションには「目的」がある

● 伝える力と受け取る力

- 「目的」のあるコミュニケーションには「伝える（話すなど）力」と「受け取る（聴くなど）力」が必要

こども発達支援センター青空



うまくコミュニケーションできないと

- 意図が分からず、注意されたり、制止されたり、叱られたら混乱する
- 自分の知っていることや、聞き取れた言葉から何とかしようとする
→ 聞き違いや勘違い
- うまく伝えられないために、黙り込んだり、行動で表そうとする
- 分からないことが続くと、精神的に疲れてくるので、なるべく負担を減らそうとする（結果的に、同じパターンを繰り返す、変化を好まなくなる）

こども発達支援センター青空



「コミュニケーションが苦手」とは？

- 困難さは「おしゃべりができるかどうか」よりも

「自分の伝えたいことを相手にわかりやすく伝えることができるかどうか」

「相手が伝えたいことの真意が読み取れるか」ということ

こども発達支援センター青空



コミュニケーションの特徴 1

表現について

- 話し言葉がない、話し言葉の発達の遅れ
- 話し言葉があっても、コミュニケーションの道具として使えない（使わない）

こども発達支援センター青空



表現の特徴

- エコラリア
- 反復言語
- アクセントや音量
- 文語調や杓子定規な表現
- 創作言語など

こども発達支援センター青空



コミュニケーションの特徴 2

理解について

- 話し言葉を理解することが苦手

あいまいな言い方が分からない
字義通りの理解、偏った解釈

「Sleep on the train」

「まっすぐに帰る」



こども発達支援センター青空



電話をうけたとき・・・

- 「もしもし、〇〇さんのお宅ですか？」
- 「はい、そうです」
- 「お母さんいますか」
- 「はい、います」
- 「・・・・・・・・・・・・・・・・」
- 「お母さんに代わってもらえますか」
- 「はい、わかります」



こども発達支援センター青空

コミュニケーションの特徴3

関係性について

- 非言語的コミュニケーションを使用することや理解することが難しい
- やりとりが苦手
ジェスチャー、うなずき、表情、ほのめかし
ごっこ遊び・見立て遊びなど役割を分担しあったり、
象徴的な意味を理解することが苦手



こども発達支援センター青空

例えば・・・（お茶のお代わり）



こども発達支援センター青空

例えば・・・（今日の予定）



こども発達支援センター青空

おかあさん、おこってる？ 

おこってないよ 

おこってないよ 

17 


こども発達支援センター青空

「おこってないよ」は・・・

- お母さんが子どもの顔を見て、ニコニコしながら言っていたら→本当に怒っていない
- お母さんが大きな声で言っていたり、腕を組んでいたたり、子どもの顔を見ないで眉間にしわをよせながら言っていたら→「怒っている」というメッセージ


↓

- 「怒っていない」という言語ではなく、「顔を見ない」「腕組み」「眉間のしわ（表情）」「大きな声（声の調子）」といった非言語性のメッセージが重要！！

18 

こども発達支援センター青空

共通の理解（雲の上＝飛行機で移動中）

今頃は、まだ雲の上じゃないかしら 


○○さん、今頃どうしているかなあ 





19 


こども発達支援センター青空

字義通りに理解すると・・・

今頃は、まだ雲の上じゃないかしら 

○○さん、今頃どうしているかなあ 



20 

こども発達支援センター青空

会話とは・・・

- 単にことばの交換だけではなく
非言語コミュニケーションを
キャッチする・表現すること

※そのときの状況を理解する必要もある

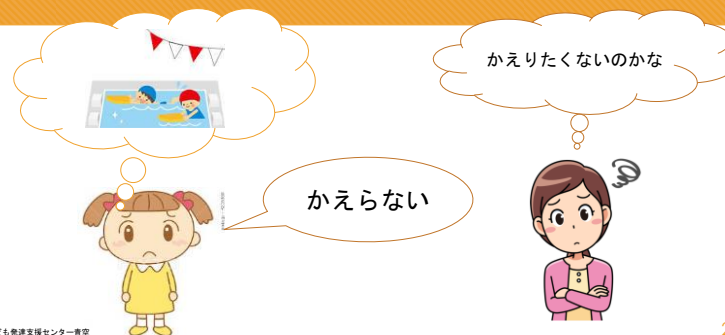
もう一度コミュニケーションを考えてみると

- 相手と自分の間で高度な情報の処理能力を駆使して、
相手の考えていることや思っていることを推測し、
さらにそれらのファクターを考慮しつつ、実行したり
しなかったりすることを要求されている。

子どもたちは困っている



家に帰らず、プールに行く予定



プールにいかないの？



何故、困っているのか

- 場面の色々な情報を集めて臨機応変に考えることが苦手
 - 見たものに引っ張られたり、自分の考えにとらわれてしまいやすい
 - 色々なことを同時にすることが苦手
 - 過去はしっかり覚えているが、未来を想像することは難しい
 - 外から観察することは得意だが、理由を説明することは苦手
- こども発達支援センター青空
- 26

学習スタイルの違い

- 視覚的に考える
- 中枢性統合の弱さ
- 独特の注意の向け方
- 実行機能の困難さ
- 感覚刺激の偏り
- 心の理論の弱さ



大事なことは

より効果的なコミュニケーションスキルを、
できるだけ視覚的な方法を用いて教える

こども発達支援センター青空

28

支援の方法

こども発達支援センター青空



支援に必要なこと

- ①環境を整える
- ②こどものことをよく知る（評価）
- ③伝え方を考える（分かりやすい方法）

こども発達支援センター青空



①環境を整える

こどもが安心できる環境を整える

- 分かりやすくする
- 見とおしが持てるようにする
- 嫌がることは無理強いしない

安心があってはじめて
学ぶことができる

こども発達支援センター青空



は〜い！先生のお話を聞いてね！



こども発達支援センター青空



刺激の調整



こども発達支援センター青空



②こどものことをよく知る（評価）

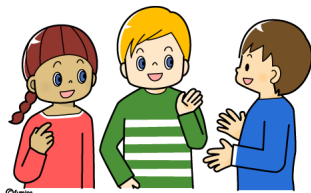
○今のこどもの力を客観的に見る

目の前のことではなく、10年後、15年後のために、今、できるだけの支援を積み重ねることが大切

こども発達支援センター青空



表現についての評価



こども発達支援センター青空



自発的なコミュニケーションに着目

- 形態（どんな方法で）
- 機能（どんな目的で、何のために）
- 文脈（どんな場面で、誰に）

36

こども発達支援センター青空



表現の方法（形態）

- 直接的な行動（連れて行く）
- 身振り
- 物を使う
- カード
- 文字
- サイン（手話・マカトン）
- 話しことば

※「今、どのようなコミュニケーションスキルをもっているか」
「そのスキルをどのような場面で使えるか」

子ども発達支援センター青空



どんな方法で表現する？

- 適切な要求の方法を知らないと
→直接取る、力ずくで取る、あきらめる
- 適切な拒否の仕方を知らないと
→泣く、投げる、逃げる、自傷、他傷
- 不安を適切なことばで表現できないと
→不適切なせりふ、質問
- 特定の相手・場面にしか表現できないと
→他の場合には不適切な行動、あきらめる

子ども発達支援センター青空



表現で見られること

- 甲高い声、大声
- コミュニケーションのためにことばをつかわない、独り言
- エコラリア
- イントネーション
- 限られた場面でのことばの使用
- 質問、確認をくりかえす
- 正直すぎる表現

子ども発達支援センター青空



表現の機能（どんな目的で、何のために）

- ①要求 ～がほしい、～をしてほしい、～をしたい、してもいい？
例：「ジュース」と言う、冷蔵庫を指差す、
冷蔵庫に連れて行く
- ②注意喚起 自分に関心、注意を向けさせる
例：「ママ」と言う、大声をあげる、先生の肩をたたく
- ③拒否 物や活動、人の要求を拒否する
例：「いや」と言う、首をふる、押し返す、大声をあげる

子ども発達支援センター青空



表現の機能（どんな目的で、何のために）

- ④説明 自分や人のこと、物の特徴や状態について指摘する
- ⑤情報提供 相手の知らない情報を知らせる、質問に答える
- ⑥情報請求 自分が知りたい、教えて欲しいことを意思表示する
- ⑦感情や共感の表現 感情や体調などを表現する、挨拶をする

こども発達支援センター青空



表現の文脈（場面状況）

- コミュニケーションが行われている経過、場面状況
- どういう場面、誰に対して、どんな活動のときにコミュニケーションがおこりやすいか？

※場面によって実力の発揮の仕方が違う

こども発達支援センター青空



こどもの表現は？

- 何を？ おもちゃが欲しいとき
- どんな形で？ 手を引っ張る
- 誰に？ お母さん



こども発達支援センター青空



支援方法

- 支援の場面の構造化
「何を」「どんな形で」
「誰に伝えればいいか」を明確にする
- コミュニケーションの機会を作る
できていることに意図的にブロック

こども発達支援センター青空



おもちゃの要求



こども発達支援センター青空



援助要求 (ウォークラリー)



こども発達支援センター青空



注意喚起 ～手の平カード～



こども発達支援センター青空



表現への支援とは

- 単に言語スキル（正しいことば・豊富な言語）を教えるのではなく、コミュニケーションスキル（実際に役立つ、意志を伝える力）を教えるということ
- 般化：場面や人が違っても使える

こども発達支援センター青空



表現への支援で大切なこと

「伝わった！」実感がもてるようにする
(受け手はすぐに応え、本人に分かりやすい反応で結果を感じられるようにする)



コミュニケーションへの意欲を育てる
(成功体験を積み、「伝えたいことがある」と気づけるようにする)



こども発達支援センター青空



目標（自発的なコミュニケーション）

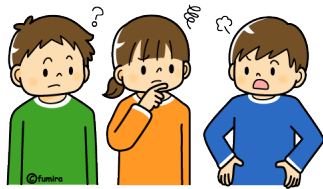


- 言語だけでなく、視覚的な手がかり、カードの使用、身振りなど本人が使える方法で
→大切なのは“自発”

こども発達支援センター青空



理解についての評価



こども発達支援センター青空



評価の方法

- 何によって、どれだけ理解しているかを知る
- 言葉だけでどれだけ理解しているかを知る
- 初めての場所でも理解できているのか知る

こども発達支援センター青空



評価時の注意点

- 伝える側が、自分が提供している情報を意識し、整理して伝え、こどもが理解しているかどうかを観察する

こども発達支援センター青空



もう一度考えてみてください

- ことばで言ったら分かる
 - 「トイレに行くよ」と言われたらトイレに行ける
-
- 言葉以外のサインは出ていないか？
 - 他の人の動きを見て行動していないか？
 - 限定的な内容と場所での理解ではないか？

こども発達支援センター青空



答え方の傾向

- ①「はい」と答えた後の行動→本心は？
- ②「わからない」→質問の意図が分からない／こたえるのが面倒
→聞き方に工夫
- ③問かけの文章のどこに反応？「あなたは／今／欲しいものはありますか」「僕の名前は〇〇です」→単語に反応
- ④正しい答え→「嫌いな食べ物は？」「嫌いはだめです」「嫌いはないです」→質問の意味ではなく知識をこたえる



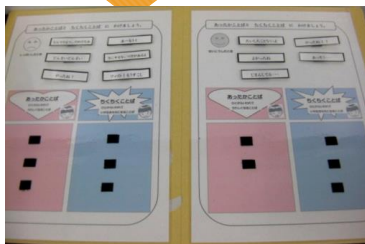
答え方の傾向

- ⑤過去の経験の影響→「何が欲しい？」「プラレール（持っているもの）」、「どこ行きたい？」「〇〇（行ったことのある場所）」
→絵や写真を使って選択肢を作るなどして本意を聞く
- ⑥判断が変わる →相手や場所、時間によって答えが変わる

こども発達支援センター青空



課題で（相手の気持ち）



こども発達支援センター青空



③伝え方を考える（分かりやすい方法）



こども発達支援センター青空



理解しやすい話しかけ方は・・・

- ①具体的に伝える
- ②擬音・擬態語を使う
- ③ことばの数
- ④直接話法で伝える
- ⑤肯定的に伝える
- ⑥理解できる疑問詞
- ⑦選択式にする
- ⑧補助手段を使う

こども発達支援センター青空



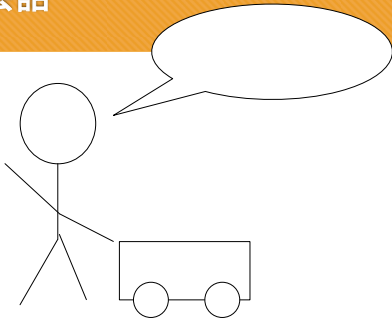
大切なことは・・・

- 本人の持つコミュニケーションのスタイルを正しく理解し、評価、支援する
- 自発的なコミュニケーションを促す
- ことばを話すことが目的ではない
- 本人の生活に役に立ち、必要なスキルを教える
- 達成可能な目標から少しずつ始め、成功体験を積めるようにする

こども発達支援センター青空



コミック会話

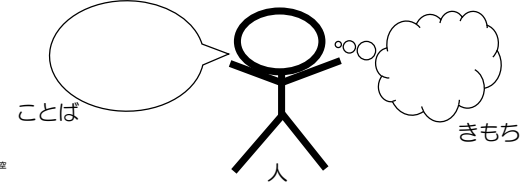


こども発達支援センター青空



コミック会話とは

- 会話を線画であらわしたもの
- 絵によって、会話のやりとりを示し、コミュニケーションを分かりやすくする

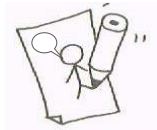


こども発達支援センター青空



コミック会話

- 報告：あったことを話す、伝える
- 説明：今、していることを話す
- 計画・予告・可能性：先のことを話す
- 人の言動を明確にし、気持ちに注目する



こども発達支援センター青空



コミック会話

- 「いつ」「どこで」の情報を特定してから話す
(この2つの情報が記憶を呼び起こすのを助ける)

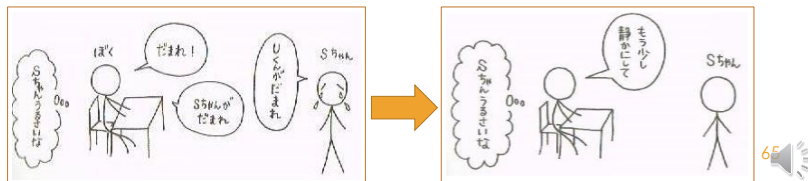


こども発達支援センター青空



解決策を明らかにする

- 会話を要約して、会話内容をまとめる
- 会話の絵を使って、解決策を検討
- また同じ場面に遭遇した時に対処



青空のコミュニケーション支援

こども発達支援センター青空



青空のPECSカード



こども発達支援センター青空



コミュニケーションブック



こども発達支援センター青空



関連書籍



子ども発達支援センター青空



ソーシャルストーリーブック 【改訂版】



子ども発達支援センター青空



「あったかことば」と「千か千かことば」

ここでは「あったかことば」と「千か千かことば」があります。

「ありがとう」「いっしょに遊ぼう」「お礼がとう」など、
いれて うれしくなることばを「あったかことば」といいます。

ほかに、「あつらいけ！」「うるさい！」「きもい嫌い」など、
いれて かなしくなることばを「千か千かことば」といいます。

ただし「あったかことば」をいうと、だれもがやや せんぱい
あつさん、おかしな人など 嫌われることばは、
かたして あがらに 使ってくださいが あります。
えががが がある、みんなと もっく なまよくねる からしねえせん。

「あったかことば」が「千か千かことば」わからぬときは、
せんぱいW あつさん おかしな人、悪い人、おしえてくれるでしよう。

ただし、できるだけ「あったかことば」をたくさん つかおうと おも
います。



子ども発達支援センター青空



テーマ別 ソーシャルストーリー



子ども発達支援センター青空



ソーシャルスキルアルバム



こども発達支援センター青空



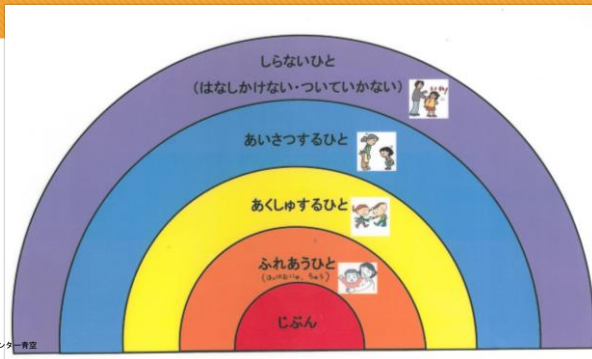
できごとおはなしシート



こども発達支援センター青空



虹の輪コミュニケーション



こども発達支援センター青空



インリアル・アプローチ ～大人のことばがけ～

- ミラリング
子どもの行動をそのままねる
- モニタリング
子どもの音声やことばをそのままねる

こども発達支援センター青空



インリアル・アプローチ ～大人のことばがけ～

○パラレル・トーク

子どもの行動や気持ちを言語化する

○セルフ・トーク

大人自身の行動や気持ちを言語化する

ありをみつけたね



こども発達支援センター青空



インリアル・アプローチ ～大人のことばがけ～

○リフレクティング

子どもの言い誤りを正しく言い直して聞かせる

○エキスパンション

子どものことばを意味的、文法的に広げて返す

○モデリング

子どもに新しいことばのモデルを示す

出発、進行！



出発！

こども発達支援センター青空



まとめ

「コミュニケーション」の支援は

- 自ら学ぶことは難しいが、教えられれば分かる
- 子どもに伝わったという実感が持てるようにする
- 伝えようとする意欲がわくようにする



コミュニケーション（人とのやりとり）することが
楽しいと思えることが大切です

こども発達支援センター青空



ご清聴ありがとうございました

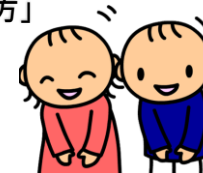
○次回は10/7 10時～11時30分

大阪府立稲スポーツセンター1階 会議室にて

「発達障害の特徴と対応の考え方」

桃山学院教育大学 人間教育学部 人間教育学科

永井 利三郎 教授



こども発達支援センター青空

